



行水産
立三谷
愛知同窓
高知校



同窓会長 小田喜代春

卒業二十五年度の諸君。 総会を盛会に!!

みおすじ発刊にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。日本経済においても大不況のさなか、会員諸兄には地域、職場にてご活躍のこととお喜び申し上げます。会長就任以来二年目を迎えることが出来ましたのも、皆様の手厚いご指導、ご支援、ご鞭撻と心よりお礼申し上げます。

昨年の総会では今までになく一三八名の出席者を見るのが出来、式典、懇親会も大変な盛り上がりの中に無事終了することが出来ましたことを会員の皆様に感謝申し上げます。

時代に沿った教育をと、諸先生方も準備を進め、学科改編もされ、女生徒も二十九名となり、来年度には新たに小型船舶の資格取得養成校となり、また石丸校長先生におかれまして、三谷水産高校始めての平成七年度全国水産高等学校校長協会の会長としてご活躍され、将来新しい水産高校として生まれ変わっていくことと思えます。

今年度より卒業二十五年度を経過した学年会員の皆様、総会の幹事さんとしてご苦労願う第一回目の総会を十一月十二日(日)に蒲都市内、ホテル竹島にて行ないます。幹事の

皆様も大変頑張った頂いておりますので、是非とも多数のご参加をお願いする次第です。今年度は創立五十五周年の節目でもあり名簿作製をいたしました。会員の皆様には、会員名簿発刊広告の御協賛、



校長 石丸昭和

変革する水産高校

三谷水産高校の同窓各位をはじめ、ご家族の皆様には益々ご健でのご活躍のこととお喜び申し上げます。今年創立五十五周年を迎えました。この重みをひしひしと感じている昨今でございます。

さて、いまや、世界の人口問題に伴う食糧の確保及び地球環境問題等の解決に、本校で学んで来た水産を基盤とした食品加工、流通、水産増殖、海技等に関する知識・技術が地球規模で求められて来たと思えます。二十一世紀に向け

誠に有難うございました。最後に会員諸兄の益々の活躍を祈念申し上げますと共に、本会へのご指導と今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

て、三谷水高の一層の充実と飛躍を切望し、会員皆様との緊密な連携とご支援をお願いする次第でございます。

母校の近況について、以下簡単に報告いたします。

一 学科改編

五年度に水産食品科、情報通信科に改編されました。残る三つの学科を、時代にマッチした科名に改編したい。内容的にもバイオテクや潜水を導入し、それに伴う施設・設備等の充実を目指します。

二 小型船舶縦士養成

漁機両科は大型船用海技士養成を引き続き堅持します。その上に、近年の沿岸漁業の見直し、マリンスポーツの普及、市内のラグナックスアイランドの着工等を視野に入れて、一級小型船舶操縦士指定養成施設の認定を考えています。そのためには、基準施設や教員養成等クリヤーしなければならぬ問題があります。現在、その基準を満たすべく鋭意努力していると認めます。早ければ今年度末には指定される予定です。認可されたあかつきには、漁業・機関科卒業生は一級小型船舶の運転免許が取得できる訳です。本校職員がその試験官になり可否を判定する制度です。漁機両科の活性化が期待されます。

三 女子生徒

来春三月には、三谷水高最初の女子卒業生が生まれます。現在、三年生二名、二年生十

二名、一年生五名計二十九名が在籍しています。実習、部活動にと積極的に明るく参加して活動しています。

四 施設・設備

男女を問わず、全員が家庭科を履修しています。今年四月に、家庭科実習室を、また、中庭に女子用更衣室、便所棟が完成しました。女子職員も三名に増員されました。

五 外国人研修受入れ

十一月上旬、モロッコ国漁業海運省の部長一名が本校で研修します。研修内容は、生徒の進路指導及び就職手続きシステムの手法について。

最後に、私はこの四月から全国水産高校長協会の理事長を拝命しました。その重責を改めて痛感しているところです。今後の全国の水産高校の舵取りを誤らないよう微力ではありますが、頑張りたいと思っています。重ねて、会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

愛知丸便り

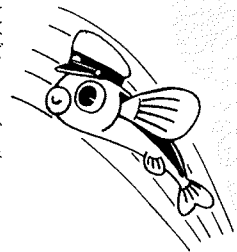
(沖縄沿岸航海)

本校練習船「愛知丸」は、平成2年4月、旧「愛知丸」の代船として就航し、主にハワイ南方海域でマグロ延縄実習を行い活躍しています。一昨年より遠洋航海とは別に沖縄沿岸航海も実施、対象は漁業科、機関科の一年生です。長期の遠洋航海に備え、海上生活に慣れることも主目的として計画されました。

本年度は十月六日第一回目が出航します。

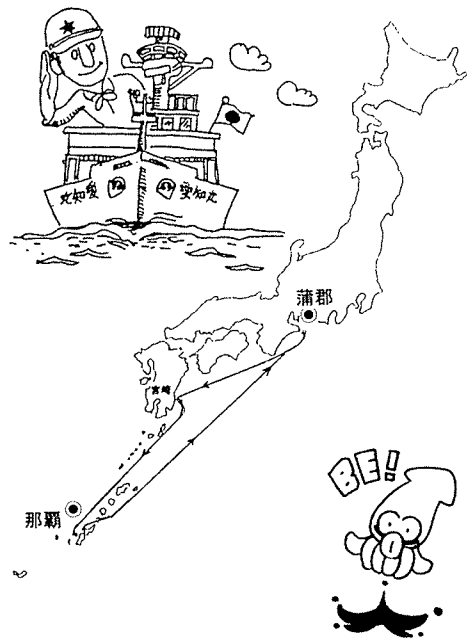
蒲郡―宮崎―那覇新港―蒲郡で十日間の日程です。宮崎では市内見学等で約半日寄港し、那覇新港は、2泊3日間停泊します。

沖縄では南部戦跡、首里城、琉球村等を見学し歴史の遺産や観光で見聞を広め、また、



別の日にはボートで無人島に渡りスノーバーダイビングで水深5メートルの潜水実習やシュノーケリング、ドラゴンボートで自然環境のすぐれた沖縄の海を体験します。

沿岸航海終了後十一月、十二月の二ヶ月間は蒲郡港竹島埠頭に停泊しています。機会がありましたら是非お立ち寄り下さい。



野球部現況報告

第77回

全国高等学校野球選手権



愛知大会

以上が本年度行われた三谷

【第2回戦】
7/23 三谷水×春日井14×4〇

【第3回戦】
7/25 三谷水×岡崎西4×11×

【平成7年度 秋季東三河
高校野球第一次リーグ戦】

8/16 三谷水×豊橋商6×10×

8/17 三谷水×豊川 1×11×

8/18 三谷水×桜丘 2×12×

8/20 三谷水×豊橋南4×11×

8/21 三谷水×新城東1×4×

【全三河大会決定戦】

9/9 三谷水×豊橋南12×9〇

9/10 三谷水×豊橋西1×6×

水産野球部の公式試合結果である。まだまだ発展途上の野球部であるが、嬉しいことに夏の大会において十一年ぶりの一勝をあげることができた。

自分たちの実力を実感できていなかった生徒さちには大変な自信となってくれたと確信している。

野球部のモットー

● 元気に挨拶すること。

● 常に全力疾走。

● 闘志無き者は去れ。

今年度、顧問を引き受けるにあたって生徒たちに目標として示した三カ条である。ま

だまだ合格点をつけることはできないが、日々成長し続けていることは肌で感じられる。特にこの暑い夏、結果は本意に終わってしまったが、どの試合も最後まであきらめずに戦い抜いた生徒たちは本当に立派であった。

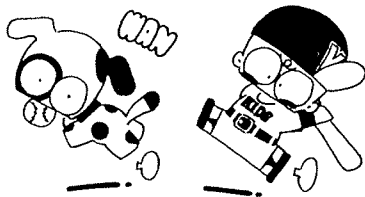
今は来季の春、夏を目指して「気持のいい野球をしよう。」を合言葉に練習に取り組んでいる。純真な眼差しで白球を

追いかけている彼らは必ず強くなる。確信している。勝つことで彼らにもっともっと自信を与えてやりたいと思う。

いや仮に試合で結果が出なくても野球を通して人間的な成長をしてくれると思う。そうすれば今目指している「気持のいい野球」が近い将来必ず出来ると思う。野球部の活動はひとつの部活動に過ぎないが三谷水産高校の活性化の起爆

剤になれたら嬉しい限りである。

顧問



訃報!!

第二代 学校長

織田尚忠氏

先生は、昭和四十二年九月から五十二年三月までの十年七ヶ月間の長期に亘り、二代目学校長として三谷水産高校発展の為に御尽力されました。特に、講堂兼体育館の竣工、晴和丸の完工、創立三十周年記念式典の挙行、専攻科無線通信科の設置、南校舎・寄宿舎・武道場の竣工、愛知丸の完工等、数々の業績を残されましたが、残念なことに平成七年七月二十日の海の記念日に御逝去されました。衷心よりお悔やみを申し上げると共に、ご冥福をお祈り致します。

「寄稿のお願い」

皆様のお蔭を持ちまして、同窓会会報「みおすじ」も第四号を発行することができました。卒業生の皆様の声を反映して、仕事や暮らしに役立つ情報をお届けしたいと努力していますので、ご寄稿を是非お寄せ下さい。

お 願 い !!

学校創立以来、同窓会役員並びに学校関係者等多くの方々のお力添えで、幾多の同窓会総会が開催されてきました。

創立五十周年で名簿も整備され、平成四年からは会報“みおすじ”を発行し、毎年総会を開催してまいりました。年毎に総会の出席者数も増加し、盛会となってまいりましたが、

“さらに飛躍した総会を!!”と考へ、本年度より総会の企画・運営に卒業二十五年度に当たる卒業生に参加していただくこととなりました。

今後、毎年の総会の盛会に向けて頑張つてまいりますので、二十五年度に当たるの卒業生の方々に全面的なご協力をお願いいたします。

なお、本年度は昭和四十五年三月卒業の方々です。同窓会としましては、この

年の三年生の正・副担任の先生方を総会に毎年ご招待させて頂き、卒業二十五年度の卒業生が恩師を囲んで昔話しながら、楽しいひとときを過ごして頂けるものと期待しておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

新名簿発行!!

創立五十周年に名簿を発行しましたが、五年後の本年度も新名簿を発行することとなりました。

名簿発行に際しましては、皆さんのご協力をいただきありがとうございます。この名簿が、同窓生の絆となれば幸いです。今後とも五年毎に名簿を発行する予定であります。

通学区域別生徒数調査

4月7日現在

通学区域 市・郡名	漁業科			食品・製造科			増殖科			機関科			情報・無線通信科			専漁		専機		専通		合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
蒲 郡 市	7	9	11	20	16	13	3	1	3	9	5	8	15	13	14	4	2	1	1		6	161
豊 橋 市	15	9	11	14	11	17	3	7	6	20	21	16	18	19	17	4		2		5	3	218
豊 川 市	2	1	2			1	3		1	4			1	1	2	1			1			20
新 城 市																				1		1
岡崎市・額田郡	2	1	1		1			2	2	1	2	2	5	1	1		1					22
安城市・刈谷市																				2		2
西加茂郡・豊田市	1							1	1											1		4
碧 南 市		1		1					1											1		4
西尾市・幡豆郡	5	3	1		2	1	2	1	1	3		1		1			1					22
大府市・高浜市 知立市	1						1					1										25
常滑市・知多郡	2	5	1	1	1	2		1	2	1	3	3	1	1	1							25
名 古 屋 市	1	4	2		2		3	4		1	1	1										19
渥 美 郡						1						1										2
宝 飯 郡	3	2	3	3	3		2			2	4	4		1	2			1				29
尾 張		2	1				1	2	2													8
県 外	1	2		1			2													7	2	15
合 計	40	39	33	40	35	35	20	19	19	41	37	36	40	37	37	9	4	4	2	16	12	555

職員異動

〔退 職〕

小久保幸治 (用務員)

〔転 出 者〕

河合 英之 教諭

知立東高等学校

瀨川 博 教諭

豊橋西高等学校

高木 幹生 教諭

宝陵高等学校

大須賀光良 教諭

知立東高等学校

長谷川 貢 教諭

内海高等学校

井谷 直樹 教諭

内海高等学校

加藤 正則 主事

安城養護学校

寺村 慶彦 主事

西三教育事務所

〔転入者〕

上松 一枝 教諭

豊丘高等学校

松井 洋文 教諭

豊橋西高等学校

木村 昭一 教諭

内海高等学校

鈴木 達彦 教諭

御津高等学校

田中 義治 主事

岩津高等学校

中村 睦子 主事

豊橋東高等学校

新 任

早川 徹 教諭

(機関科)

小林 徳子 教諭

(英語)

近藤美智雄 教諭

(食品)

尾崎 智昭 期限付実習助手

(漁業)

山田 裕司 技師

(愛知丸)

三谷水産へ赴任して



早川 徹

平成七年一月十七日、阪神大震災が発生し、多感な時期を過ごした神戸の街が壊滅したショックの中、採用通知を受け取り四月一日、三谷水産高等学校・機関科に赴任致しました。

乗船実習科を修了して就職以来十四年半、海運・港運業に従事しておりました。今になって考えてみるとこちらの学校にも縁があったのでしよう。

岐阜県飛騨山脈の奥深い船津に生まれ、雲を貫く乗鞍岳の峰を理想と仰ぎ見ながら小学校を終え、海に憧れ、中学校時代は愛知郡東郷町から自転車で友達と新舞子へ何度も海水浴に出掛け、東郷高校時代には船乗りを目指し神戸商船大学と東京水産大学を受験し、神戸商船大学商船学部機関学科を昭和五十五年卒業、

さて、知らぬ人からみれば水産高校の教員と言うと、魚のことなら何でも知っていると思われ、魚の名前も判らない、魚の習性も知らない、漁法も知らない、魚の調理方法も分からない、魚の食べ方さえも分からない。「一体あなたは何を教えているのですか?」 「はい、わたしは機関科の教員ですので機械・力学が専門です。今は、ボイラと冷凍

卒業生の進路

学 科	漁業科	水産製造科	水産増殖科	機関科	無線通信科	総 計	
							進 学 者
大学・短大		2	1	4	1	8	
専 攻 科	9			4	2	15	
そ の 他	1	1	1	7	9	19	
小 計 (A)	10	3	2	15	12	42	
就 業 者	漁業・水産養殖		5	2		7	
	建設業	2			1	3	
	製造業	11	19	5	10	8	53
	卸・小売業	1	5	4	1	2	13
職 者	運輸・通信業	4				4	
	サービス業	1	2	1	1	6	11
	公務員	1		1	1	3	
	そ の 他	8	3		1	1	13
小 計 (B)	28	29	16	16	18	107	

機を教えてください。熱い・冷たいですよ。そして情熱を燃やす事と感情を静めて冷静に物を考える事も教えているつ

もりですが」しかし、早く「よく知っていますね魚」と、言われるように勉強していきたいと思います。



水産高校での思い出

中川 利成

水産高校に十八年間勤めさせていただき、私の教員生活の約半分を過ごし、その間に色々な思い出をつくることができました。

勤めて半年位した頃だったでしょうか、防火訓練の際、浅井辰雄先生の用意した薪の山にガソリンをかけているとき、向側にいた前田先生はまだ私がガソリンを撒き終わっていないのに気付かず、火を着けた。炎はガソリンを伝わって私の手のガソリン缶に着き小爆発を起し、私の着衣が燃

えあがった。それを身近にいた近田先生が大声で「転がれ」と指示してくれた。私は弾けるように運動場に転がった。火は大事に至らず消えた。何か事が起ったとき「落ちつけ」などと言わずに具体的に行動をするよう指示することが良策であるという事は知っていたが身を以て味わった。訓練が終わって部屋へ帰ろうと歩いているとき後の方で「焼鳥ができるころだったか惜しいことをしたなあ」という声を耳にしたが、水産高校に

来て間がなかったので「チャボ」というあだ名がついたことに気がつくのに時間がかかった。部屋の入口ではつと気がついた。あの声は二年〇〇科のあいつの声だったと思う。水産高校生活の後半期は「生徒に負けるな」と先生方にハッパをかけ大変ご迷惑をかけた。でも先生方はよく協力してくれて、クラスマッチ、運動会等では大抵の場合生徒には負けなかった。それでもカッターだけは生徒には適わなかった。水産高校生活のもう一つの思い出に鱒釣りがあつた。最後の年保健課長には月五百円の手当がついたので十月の終りの頃七千五百円で鱒の稚魚百五十尾を買い試験的にプールへ入れ、飼育は保健室の先生方で当番をきめ三月まで育てた。入れた時は十種前後だったが二十五種位にまで育った。三月の学年末の考査の時、先生方に釣り堀りを勧めたところ

ろ先生方は喜んでくれしばらくの間楽しんでいただいた。生徒は感心にくっそり釣つたものはいなかったようだ。定年退職して十五年経ちましたが今はゲートボール仲間

現役、予備役と三谷水産の二より編入三漁、二漁一漁・二増一増、専任教諭四名、他は水試職員兼務で、時間割も戦時中のため毎日七時間授業でした。休日は二週間に一日で、三年生は全員造船所に勤労働員、職員も三日に一度交代で造船所へ、授業も四人で五学級では回転が悪く、自分の専門科目以外でも受けもたなければならず、てんやわんやで、今思えば生徒諸君には、大変気の毒なことをしたと恥しく思っています。又私くし自身も細くて丈夫でなく、戦時中

【学校と時間割】
昭和十八年四月、水産試験場付設講習所が水産学校として認可されました。当時は、全国水産学校中日本一設備の悪いのは、三谷水産と大分水産といわれ、施設、設備はすべて水試の借り物、校舎は木造二階建、一階は寄宿舎、二階が教室、学級数五（講習所

私の回顧録

田中亮一



に恵まれテレビ愛知に五回程写していただき東海大会、県大会等数々の大会に入賞し毎日を楽しんでおります。ゲームセット。!!

も細くて丈夫でなく、戦時中

で粗食でありながら三日に一度造船所、三日に一度舎監、三日に一度空襲、七時間授業と、よく身体が続いたものと思ふ。

終戦後、昭和二十二年から専任職員は十一名となりました。

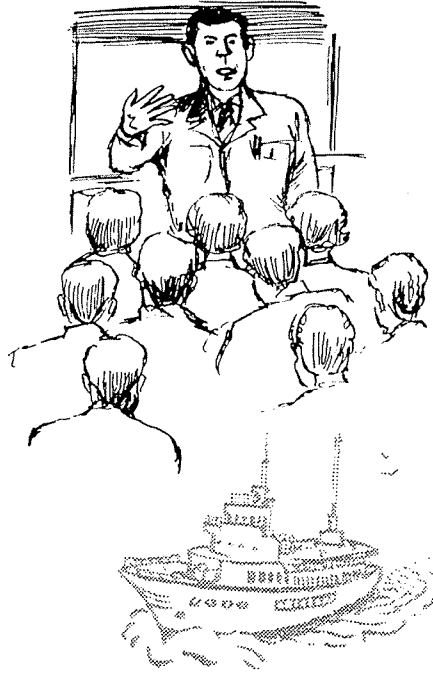
【校章】

昭和十八年、水産高校になりブリキ製の校章になった。外廓は水産の文字を現わし、中は愛知県の愛の文字を現わしている。水と愛の文字は銀色で他は緑色で戦闘帽につけていた。愛の字は、当時の雪沢愛知県知事（前桑原知事の前の知事）の揮毫であり、現在の校章は、昭和二十七年に制帽と布地の金モールに変更され、その後無帽時代に入った。最近になって気がついたのだが、校章の愛のデザインが変わっている、多分昭和二十七年、金モールになった時だと思ふ、

なぜ愛の字を変えたのだろうか、疑問に思うし当時の事はハッキリした記憶がない。

【三河地震】

昭和二十年一月、舎監勤務中の夜中、突然の大地震に見舞われ、直ちに舎生を起し運動場に集合、海の様子がいっ



もと違う、津波の心配あり国鉄線路高台に避難する（幸いに潮位一m位高い）。あまり急いだため暗闇で舎費の銀行通帳を落とす。夜明けと共に銀行に連絡、幸いにして近所の人拾って届けてくれ大過な

くすんだ。震源地は三ヶ根山ともいわれ、形原、幡豆、吉田等で被害が大きく多数の死傷者を出した。当時私も吉田に住んでおり三河線が不通となり自転車通勤した。家も二階建てであったが柱が折れ、町内の藁小屋で生活していた。当時の二年増殖科、漁業科の

生徒が大勢来てくれ、余震の間をみて荷物を出してくれた。余震は一ヶ月位続いた。生徒諸君には感謝しています。

【校歌】

本校に、私しが赴任してき

た時には、戦時中と新設校のため校歌はありませんでした。昭和二十一年、有名作詩家より、むしろ地元の事情の良くわかった人にとのことで、当時の国語担任の故白井先生にお骨折を願って、当時豊橋中学校（現時習館高校）の金田誠一先生に作詞を、市立豊橋高等女学校（現豊橋東高校）の林広次先生に作曲をおねがいで出来あがったものである。

昭和二十二年二月、水試の二階講堂で、小学校よりオルガンを借り、両先生とNHK歌手の山田先生より、生徒、職員に指導していただいた。

昭和二十八年九月、十三号台風により、私が職員室の戸棚に保管していた原本楽符を駄目にしてしまい、その後は生徒手帳の楽符をそのまま使っていますが、楽符の第一章第四節の音符の一部の音の速さが原本楽符と違っている

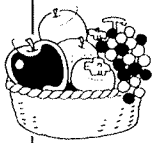
のではないかと思いますが、ハッキリした事がわかりません。

【集団赤痢】

昭和三十三年九月、原因は昼食時の販売のおかずからともいわれ、又生徒諸君が薬罐の蓋でお茶を飲んだ結果からともいわれ原因が不明である。

毎日のように各H・Rより二、三名の腹痛者が出て欠席者が目立ち、ついに全校検便になり、集団赤痢発生、健康保菌者も含め二十四〜二十五名の人達が、豊川、新城、名古屋の各病院に隔離、学校は臨時休校となり、全校消毒が行われその年の運動会は中止となった。

私は、幸いにして保菌者にならずすんだ、しかし検便検査結果が一週間先になるので、お互いに心配だった。



お見舞!!

頑張れ!!
同窓生!

この度の阪神地方に甚大な被害をもたらした「兵庫県南部地震」に関しましては、同地域に在住の、多くの同窓会会員の皆さんに心より深くお見舞い申し上げます。と同時に、一日も早く復興されることを母校職員一同並びに同窓会会員一同、此処蒲郡の地よりお祈り申し上げております。どうか頑張ってください。

なお、今回の地震につきましては、救済金として金一封を愛知県知事を通じ、同地域にお送りさせていただきました。

お礼のことは
日頃から愛知県政の進展に格別のご協力を賜り、感謝にたえないところでございます。

さて、このたびの「兵庫県南部地震」は兵庫県地方に甚大な被害をもたらしましたが、早速心温まるご救援をいただきまして、まことにありがとうございます。お寄せいただきました救援金品は、速やかに兵庫県へ送り、被災者に貴台のご厚情をお伝えしたいと思います。皆様方の暖かいご援助とご激励によりまして、被災者の皆様も復旧に懸命の努力をされることと思っております。

平成七年三月十五日

愛知県知事 鈴木 礼治

県立三谷水産高等学校
同窓会 会長 小田晋代春 様

水高祭ご案内

来る11月5日(日)
10時~14時
水高祭を一般公開します。

《 総会のご案内 》

- ◆と き 11月12日(日曜日)
- 総 会/10:30~11:30
- 懇親会/12:00~
- ◆ところ ホテル竹 島 蒲都市竹島町1-6 電話<0533>69-1256

本年度にご勇退の先生方と、昔懐かしい恩師の先生方も多数出席されますので、皆さんのご出席をお待ち申し上げます。
ご出席の場合は、お手数ですが同封の葉書をお送りください。
(同窓会事務局)

会費納入のお礼とお願い

今年の会費の納入ありがとうございました。

本年も約六百五十名の方に協力いただき、感謝申し上げます。内訳は、会報の発送に約八十万円、名簿発行費用に五十万円を使用させていただきました。

今後とも、皆様方のご協力をお願いいたします。

編集後記

「みおすじ」も皆様のおかげで四号になりました。ご寄稿下さいました恩師の先生方に厚くお礼申し上げます。この会報が今後とも皆様のお手元にお届けできるように事務局一同努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

